

# 【商業科・事務情報科】 1年次 【必修】科目「国語総合」授業のシラバス

## 1 概要

教科名	国語	科目名	国語総合	単位数(コマ数)	4単位(195コマ)
科目の目標	1.国語を的確に理解する能力を育成する。2.思考力と感性を高め、自ら考え表現する態度を養い、伝え合う力を高める。3.言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。				
教科書(出版社)	高等学校 改訂版 新編国語総合 (第一学習社)	副教材(出版社)	パスワード級別漢字(浜島書店) ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)		

## 2 学習の方法

### (1) 予習について

授業で扱う文章は事前に最低3回は読んでほしいと思います。次に、難しい語句や漢字については、意味を調べておくことが読解力の向上には欠かせません。言葉の意味をたくさん知ることは、思考力の基盤となる知識の蓄積となります。古文や漢文は、基本的なことをしっかりと身につけることが求められますので、予習よりも復習の方が大切になります。毎週漢字テストがありますので、テスト範囲を予習してください。

### (2) 授業について

国語は、みなさんが普段使っている日本語で勉強する教科です。しかし、日本語の授業ではありません。国語の授業は、日本語で書かれた文章を正しく理解し、その理解した内容を知識として活かし、活用する力を養うものです。「作者は何を私たちに訴えているのか。」「何を知らせようとしているのか。」「何を分かってもらおうとしているのか。」などということ私たちは、文章を読みながら理解していきます。それを「読解」と言います。授業では、「作者はこう考えているけれども、君たちはどうか。」と、必ず聞きます。君たちは次のように答えられるように勉強しなければなりません。「作者の意見はこうだと思います。私はこれについてはこう考えます。なぜなら、これについてわたしはこれまで学んできたことからこう考えるからです。例えば、・・・」国語力とは思考する力そのものを言います。物事をしっかりと考える。そして行動する。人間の基盤となるのが国語の力と言っても過言ではありません。また、古文、漢文は日本の文化を学ぶ数少ない機会です。文化や伝統を学ぶことは、私たちの生き方をより豊かにする精神性をはらんでいます。私たちは今だけを生きているのではなく、過去という時間とともに生きていくことを自覚することが大切であり、より豊かな知性と教養を養う機会であると捉えてください。

### (3) 復習について

5単位の授業ですので、復習の時間をしっかりと取ってください。その日のうちに授業の流れを教科書やノートまたはプリントを見返しながら、頭の中で思い描いてみることは知識を整理する上で、大変重要な学習活動です。その活動をより有効なものにするためにも、復習のための学習ノートを作ってみてはどうでしょうか。習ったことを自分の知識にする作業と言えます。復習のやり方によっては、「自ら学ぶ」という最も大切な姿勢を身につけることができると思います。

### <学習アドバイス>

国語の力は日常生活で養って行くことが非常に大切だと思います。読書をしたり、新聞を読んだり、映画やテレビドラマなどを視聴しながら、語彙力を高め、言葉を豊富にし、表現力を豊かにしていくことが国語力の養成だと考えます。教科書だけを読んでいても国語の力は身につけません。言葉の力を意識しながら、文章を読んだり、ものを見たり聞いたりすることが大切なのです。今、自分の使っている言葉が、しっかりと相手に伝わっているのかを意識してみましょう。また、相手の言っていることがしっかりと理解できているかも確かめてみましょう。国語の力は日常生活の質的な向上と大いに関係があります。国語という「学び」の機会を意識的に捉えてみることをお勧めします。また、古典という今は使わない文章を学ぶ機会がありますが、知識と教養を身につける機会であると捉えてください。人は知識の量とその有効な使い方によって、より豊かに、より自分らしい生き方ができるのです。国語の授業がたくさんの知識と教養を身につける機会となることを願っています。みなさんも自己の成長のため、日々の努力を厭わない気持ちを持って、学校生活を送ってください。

## 3 評価について

### (1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	日本語や言語文化に対する関心を高め、国語力の向上を図ることができたか。
② 話す聞く能力	筋道を立てて話したり正確に人の話を聞き取ることができたか。
③ 書く能力	目的に応じて、適切に文章を書くことができたか。
④ 読む能力	様々な文章を表現に即して正確に読み取ることができたか。
⑤ 知識・理解	表現と理解に必要な知識を身につけているか。

### (2) 評価の方法(以下観点①～⑤は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト	小テスト	授業ノート プリント	発問・指名 読み	感想レポ ート等	意見発表 スピーチ	グループ ワーク
		割合							
① 関心・意欲・態度		20%		○	○	◎	◎	○	◎
② 話す聞く能力		15%				○		◎	○
③ 書く能力		15%	△		○		◎	○	○
④ 読む能力		25%	◎			◎	○		
⑤ 知識・理解		25%	◎	◎		○	○		○

### <担当者からのメッセージ>

評価は日常の学習の取組がどのくらいできているかを判断するものです。提出物は日頃からしっかりと準備しておけば全員ができることです。そのような誰でもできることは何よりもしっかりとできるようにすることが学習の評価の基本となります。「今やれることは今やる。」「明日やることは今日のうちに準備しておく。」「決して後回しにしない気持ちをもって学習に取り組んでください。そうすれば必ず評価は上がります。それにプラスして、常に準備を怠らない気持ちが大切です。「備えあれば患いなし」です。良い積み重ねを習慣づけましょう。負の積み重ねだけは習慣化しないように努力しましょう。

【商業科・事務情報科】 1年次 【必修】科目「国語総合」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	新しい出会い	7	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の主張を理解する。	①②③④⑤	・内容を的確に読み取り、筆者の思考と主張を理解できる。	漢字小テスト (毎週1回)
	小説を読む(一)	10	・登場人物の心理的動きを理解し、正確に内容を読み取り、小説を味わう。	①②③④⑤	・作中の人物の状況や心情の変化を的確に理解できる。 ・作者と作品について理解を深めている。	
5	古文入門	22	・古文を音読し、言葉と仮名づかいを理解する。 ・品詞の種類を理解する。 ・活用と活用形、係り結びを理解する。	①④⑤	・歴史的仮名づかいと品詞の種類を理解できる。 ・動詞の活用と活用形を理解できる。 ・係り結びを理解できる。	前期中間考査 (ノート提出)
6	詩の楽しみ	8	・詩の多様な表現を理解し、詩人の感性と詩の内容を読み味わう。	①②③④⑤	・詩の内容を表現に即して的確に理解できる。 ・自分の意見や感想を適切に表現することができる。 ・作者と作品について理解できる。	
	生活の中の表現	8	・論理の展開を理解し、筆者の思考と主張を的確に理解する。	①②③④⑤	・論の展開と主張を理解できる。 ・文化の違いによってものの捉え方が違うことの理解を深めることができる。	
7	漢文入門、故事成語	22	・訓読のきまりを理解する。 (返り点の種類と用法・助字と置き字・再読文字) ・故事成語を理解し漢文に親しむ。	①④⑤	・訓読のきまりを理解できる。 ・故事成語の内容を理解できる。	
8	人間の風景	8	・文章の内容を叙述や構成に即して的確に読み取る。	①②③④⑤	・内容を的確に読み取り、筆者の思考と主張を理解できる。 ・作者の人となりを理解できる。	夏期休業明け 実力考査
9	古文に親しむ	14	・動詞の活用、形容詞の活用、形容動詞の活用、仮定条件と確定条件を理解する。	①④⑤	・各用言の活用と仮定条件・確定条件を理解できる。 ・内容を的確に読み取り、話のおもしろさを理解できる。	
	小説を読む(二)	14	・表現に即して文学的な文章を読み味わう。	①②③④⑤	・人物像や情景等を表現に即して正確に読み取っている。 ・心情を理解するために、表現を手がかりにすることができる。 ・作者と作品について理解できる。 ・内容を理解した感想文が書けている。	前期期末考査 (ノート提出)
後期 10	社会と人間	8	・叙述内容を正確に把握し、論理の展開をたどって、筆者の主張を的確に読み取る。	①②③④⑤	・論の展開に即して筆者のものの見方や考え方を読み取っている。 ・抽象的な思考について、論理展開をたどって的確に読み取ることができる。 ・本文の要旨を的確にまとめることができる。	
11	物語を楽しむ(古文)	16	・古文に親しみながら、古文読解の基礎である助動詞の種類と用法を理解する。	①④⑤	・文章を表現に即して読み、登場人物の心情や人物像を捉えることができる。 ・歴史的仮名づかい・語句の意味について理解できる。 ・代表的な助動詞の意味と用法を理解できる。	後期中間考査 (ノート提出)
	短歌と俳句	8	・短歌と俳句の多様な表現を理解し、内容を読み味わう。	①②③④⑤	・各短歌と俳句の内容を理解できる。 ・それぞれの作者と作品について理解を深めることができる。	
12	小説を読む(三)	12	・登場人物の心理的動きを理解し、正確に内容を読み取り、小説を味わう。	①②③④⑤	・登場人物の心情と情景等を表現に即して正確に読み取ることができる。 ・作品のテーマを理解した感想文が書くことができる。	
1	漢詩の鑑賞	12	・漢詩を訓読し、漢詩の世界を味わう。	①④⑤	・漢詩の歴史と訓読の方法を理解できる。 ・漢詩の内容を理解し、漢詩の世界を味わうことができる。	
2	現代と社会	10	・文章の内容を叙述や構成に即して的確に読み取る。	①②③④⑤	・論の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取ることができる。	
3	随筆を読む(古文)	16	・古文を読み、日本文化の特徴と日本人の価値観に触れる。	①④⑤	・文章を表現に即して読み、登場人物の心情や人物像を捉えることができる。 ・歴史的仮名づかい・語句の意味について理解できる。	後期期末考査 (ノート提出)
		計 195				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は話す聞く能力、③は書く能力、④は読む能力、⑤知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。